

「脳卒中回復期患者の栄養療法—活動係数の決定—」

についてのお知らせ

国立病院機構東埼玉病院では、標記の調査研究を行なっております。

1 実施目的について

脳卒中患者の栄養療法はその重要性が注目されていますが、回復期（リハビリテーションの時期）での栄養量の基準に関する報告はほとんどありません。

そこで、本研究は脳卒中回復期患者の適切な栄養量（活動係数）をより確かにすることを目的としています。

2 実施内容について

下記調査期間中に、当院に入院された初回脳卒中後の方を対象に栄養療法を行い、その基準となる活動係数を分析します。ただし、糖尿病を合併している方は特別な栄養療法を必要とするため今回の研究対象からは除外します。

3 研究責任者

和田 彩子

(国立病院機構東埼玉病院 臨床研究部 機能回復・成育医療研究室 客員研究員)

4 研究期間

平成24年7月12日から令和7年3月31日を研究期間とします。

5 個人情報およびプライバシーの保護について

この研究で調査対象とする報告書には、患者さまおよび報告者がわかるような個人情報は含まれておりませんので、この研究による個人情報やプライバシーの漏洩や公開は生じません。またこの研究で作成するデータファイルは、報告書と同様に管理いたします。

この研究の成果は学術的な場でのみ公表します。

6 問い合わせ先

梶兼太郎 (国立病院機構東埼玉病院 臨床研究部・機能回復部門・リハビリテーション科医師)

この研究の対象とされないことを希望される方、この研究にご質問がある方はこちらにお問い合わせください。